



高温小野式回転曲げ疲労試験

常温から高温まで幅広い温度での回転曲げ疲労試験を実施します。

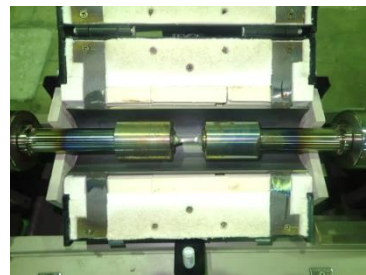
試験の概要

常温～850℃の範囲で回転曲げ疲労試験が実施できます。

3,600rpm(54Hz)で試験が実施できるため、短時間でS-N線図を採取できます。

試験機と仕様

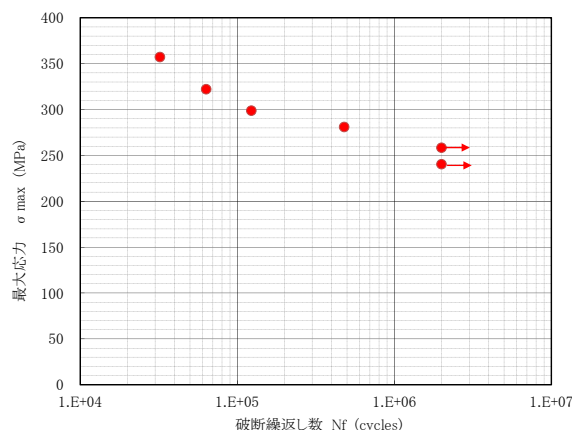
- 試験機：島津製作所製小野式回転曲げ疲労試験機（H7形）
- 試験温度：常温～850℃
- 繰返し速度：29Hz～54Hz
- 加熱方法：電気炉（±5℃以内に制御）



試験片取り付け状況写真



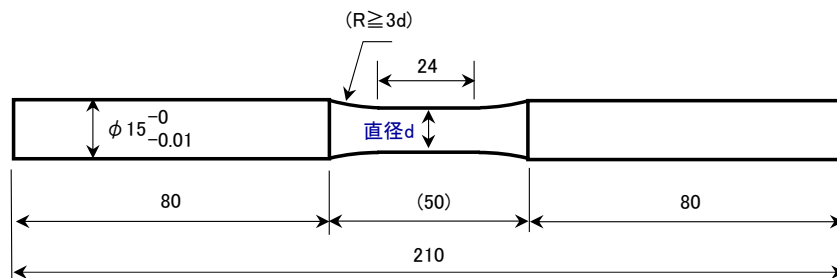
試験機外観写真



応力-繰返し数(S-N)線図

試験片形状

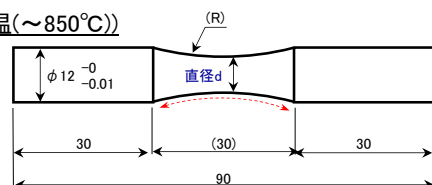
試験片形状①(常温)
JIS Z 2274 1号試験片



直径d：φ12mm(σ ≤ 550MPa)、φ10mm(σ ≤ 1000MPa)、φ8mm(σ ≤ 2000MPa)

直径と試験可能な最大応力

試験片形状②(常温、高温(~850℃))
JIS Z 2274 2号試験片



試験温度	φ8mm	φ6mm
常温	400 MPa	900 MPa
高温(~850℃)	200 MPa	450 MPa



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2019 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。